

令和六年度卒業証書・修了証書授与式 式辞

本日、福井工業高等専門学校本科と専攻科の卒業証書および修了証書授与式を迎えられたことは、私共教職員一同にとりまして大きな慶びであります。ご卒業される皆様に本校の教職員並びに在學生を代表して心からお祝い申し上げます。また、今日のこの日に至るまで、長きにわたりご支援を賜りました保護者ならびに関係の皆様には厚く御礼申し上げます。

このたび晴れて卒業の日を迎えられた卒業生は、準学士課程では機械工学科 34 名、電気電子工学科 38 名、電子情報工学科 32 名、物質工学科 32 名、環境都市工学科 40 名、合計 176 名、専攻科課程の修了生は、生産システム工学専攻 16 名、環境システム工学専攻 15 名の合計 31 名であり、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学位（工学）が認定され、この席で学位記が授与されますことは、本校としてもこの上ない喜びであります。従いまして、準学士、専攻科課程の卒業生は外国人留学生 3 名を含め、合計 207 名になります。ご卒業・修了される皆様に心からお祝い申し上げます。

皆さんは、5 年または 7 年間にわたり幅広い専門知識や技術を学び、実践的な能力と論理的思考力を身につけられたことと思います。この時間は、皆さんのこれまでの人生の中で、最も大きな成長を遂げた貴重な時間です。今後、本校で学んだ事柄を最大限に活かして、未来社会を創造する技術者として大いに活躍されることを心から願っております。

近年、社会は想像を超えるスピードで変化し続けています。AI や IoT、ビッグデータといった新たなテクノロジーが社会の在り方を大きく変えようとしており、私たち人類は、かつて経験したことのない予測不能な時代を迎えようとしています。また、人口減少、少子高齢化に向けた課題の解決、脱炭素社会実現に向けた取り組み、社会インフラの維持など、新しい技術開発や今までにないサービスの開発など、高専卒業生が果たさなければならない課題は山積しています。このような時代にこそ、高専生の持つ豊かな発想力による課題解決能力の真価を発揮することができます。大きな変革を迎える社会において、皆さんには「変化を恐れず、自ら学び続ける姿勢」を大切にしてほしいと願っています。社会は時に厳しく、正解のない課題を突きつけてくることもあるでしょう。しかし、そこで諦めずに、自ら考え、行動し、そして周りの人と協力しながら、道を切り拓いていってください。

校長室には福井大学教授で書道家の杉本長雲先生による「鐵心肝」の書が掲げられています。この言葉は、鉄のように堅く変わらない心、ゆるぎない心、強い心を表します。変化の激しい時代であるからこそ、皆さんは、困難に立ち向かう勇気と忍耐力、そして何事にも動じない強靱な心を持つことが肝要です。学生生活では、様々な困難に直面しながらも、一つ一つ乗り越え、強い心を育まれてきたことと思います。社会に出れば、初めて経験する大きな変化や困難が待ち受けています。しかし、皆さんが本校で培ってきた「鐵心肝」の精神を持てば、どんな困難にも立ち向かっていくことができるはずです。どうかこの言葉を胸に、自分の夢や目標に向かって、たくましく歩いてほしいと願っています。

また、卒業・修了生の皆さんが社会の一員として輝く未来に羽ばたくためには、高い倫理観に基づく行動規範を持ち続けることが大切です。さらに、日常的な礼儀正しい挨拶、周りへの感謝の気持ちや心遣いの一言を常に心がけて頂きたいと思います。これまで学校や寮生活、課外活動などを通じて培った人間力を基にチームの一員として、諸先輩や同僚らとともに自らの夢に向かって果敢に挑戦して下さい。

最後に、これまで学生諸君を見守りご支援頂いた保護者の皆様、関係者の方々にお祝いと感謝を申し上げますと共に、卒業生・修了生に輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

教職員一同、卒業生、修了生の皆さんのご多幸とご発展を衷心より祈念して、式辞いたします。

令和七年三月十七日

独立行政法人国立高等専門学校機構

福井工業高等専門学校長 長谷川 章